



日本プライマリ・ケア連合学会

近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学

事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@ayoume.jp
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 11 (2015. 6)

[勉強会報告] 第7回 近畿家庭医療学後期研修医ポートフォリオ発表会 (3月1日)

草野 超夫 (京都家庭医療学センター)

【内容】 近畿圏の家庭医療学後期研修プログラム在籍者 (15名) によるポートフォリオ発表。評価方法に関しては、事前に提出されたポートフォリオ詳細事例報告書 (A4 2枚) と当日の発表の合計評価とし、2014年度版学会ルーブリックに則り審査員による評価の下採点、ベストポートフォリオ賞を決定。

発表研修医全員に評価のフィードバックを後日送付、各自のレベルアップを期待する。また、各プログラム指導医交流を促進し、関西ブロック家庭医療のレベルアップを図る。以上二点を主目標とした開催である。

【振り返り】 年度末のご多忙な時期にも関わらず、遠方からもご参加いただき総勢72名の参加がありました。ありがとうございました。本年度発表会の最大の特徴は、学会ルーブリックに則りポートフォリオ評価基準を明示したことです。無論、さらなる議論は必要ですが詳細事例報告書とセットで評価という形に到達したのは成果であったと考えています。

後半、ゲストの朝倉健太郎先生 (大福診療所) よりポートフォリオに対してのわかりやすい注釈が加えられ、若手の先生はもとより Ver2 より新規参入される指導医の先生方からも参考になったとご感想いただきました。全体として「ポートフォリオ」に親しめた一日となったのではと考えております。また、発表者のほとんどは後期研修1年目でありながらレベルの高い考察が目立ち、来年度以降どのような飛躍を見せて頂けるのか非常に期待が持てる内容でした。ベストポートフォリオ賞は以下の方が受賞されました。(敬称略)

Aブロック：「ゆずの残り香」 草野超夫 (京都家庭医療学センター)

Bブロック：「公立中学校における性感染症出前授業の取り組み」 来住知美 (大津ファミリークリニック)

また、末尾になりましたが、ご支援いただいたプライマリ・ケア連合学会近畿ブロック支部の皆様方に篤く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・幹事 : 福原俊一 (学会理事)、朝倉健太郎、足立光平、石丸裕康、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、松井善典、松村理司、水野融、三ツ浪健一、吉本清巳
- ・監事 : 大島久明、澤木政光



[支部報告] 和歌山県支部の設立について (2月14日)

羽野 卓三 (和歌山県立医科大学)

和歌山県立医科大学生涯研修センターにおいて、和歌山県支部の第1回総会を開催した。近畿ブロック支部から御連絡いただいた和歌山県支部の会員107名にご案内し、57名から出欠の返事を頂き、23名の出席者があった。出席者は和歌山市を中心に紀北、紀南地方からも多くの先生にご出席者いただいた。

実際、和歌山県の会員が顔を合わすことが少なかったことや、専門領域が異なるため、名前と顔が一致しない状況であった。会議の冒頭、支部設立の経緯、和歌山支部の会員数の現状説明についての説明を行った。議題としては、今後の支部の運営について、研修会の開設を行うとする意見や、教育にどのように関わっていくのかなどについて意見交換が行われた。

また、平成28年に和歌山で開催される近畿地方会についても議論された。大会は大学が主体となっていくが、各領域において支部の先生方にも協力いただきたい旨、羽野会長より協力依頼がなされた。近畿地方会については、講演内容を横断的な内容とし、多職種が参加できるような内容が提案された。会場については、現在の近畿地方会の参加者人数と和歌山県の会場について意見が出された。

今後の研修会の案内などについてはメーリングリストを作成し、可能な限りメーリングリストで連絡をとることを確認した。最後に、和歌山県の会員は急激に増加しており、専門領域、所属学会なども異なるため、会員同士の顔が見えない状況であったので、出席者の自己紹介を行うとともに本学会に関連した自己の活動を紹介した。会が終了した後も、意見交換が続き、盛会裏に終了することができた。

[支部報告] 大阪支部発足記念総会 (3月15日)

梶山 泰男 (大阪府中央区東医師会)

疾病構造が変化し、地域におけるケアや予防活動抜きに患者さんを見るのが困難になり、地域の多職種連携が大切になることを受けて都府県支部の創設が呼びかけられました。

昨年11月30日の大阪府所属の代議員会席上、府支部の発足を決めました。会員は学会員のうち府所属会員で構成し、その責任は代議員が負いますが、運営方針や組織は支部創設の意義に従って、より広い年齢層の会員や多くの職種の会員が参画し、より広い地域の仲間と連携することが決まりました。

そのためには過去の選挙で選ばれた現在の代議員だけでは力不足であって、地域にはどのような活動があり、どのような会員が今後参画してくれるかを広く問いかける会を開き、その後に役員や規約を考えようとして、発足記念総会を開くことにしました。会には多くの職種、年齢層に来てもらうべく、自薦他薦の運営委員会を組織して準備を開始しました。素晴らしいアイデアが出されて、近畿地方会や研修医のポートフォリオ発表会の優秀演題のプレイバック発表や大阪医大鈴木教授による症例検討もあり、メインのWSは「ポリファーマシーを題材に多職種連携を考える～薬剤師とのコミュニケーションで困っていませんか」として、プライマリ・ケア認定薬剤師さんとの共同作業のスタートになりました。

参加者数は約70名で、より早い段階からの積極的な広報が今後に向けての課題となりましたが、多彩な参加者を得て、これからの活動の基礎になったと思われます。



[支部報告] 奈良県支部会設立集会 (4月5日)

武田 以知郎 (地域医療振興協会 明日香村国民健康保険診療所)

奈良県立医科大学厳樞会館におきまして、奈良県支部会の設立集会を無事執り行うことができました。奈良県の会員数は150人程度で、しかも日程が4月最初の日曜日とあって当初は2, 30人が集まればいいところと予想していましたが、なんと100人を超える参加者で大変な盛会となりました。

学会からも、支部会は会員だけの活動ではなく地域に門戸を広げ新たな会員獲得につなげて下さいとのアドバイスもあり、会員に加えてSNSなどを通じて各代議員とつながっている多職種の方々にも声をかけたのが功を奏したようです。会場は多くても50名程度と想定していたために、途中制限せざるを得なくなったことをお詫び申し上げます。しかし、それだけ多職種が地域包括ケアとして顔の見える関係を望んでいることがわかりました。

来ていただく方々に、何かお土産になる企画をと考え、多職種参加型で進めている近畿地方会実行委員会の企画時に用いたワールドカフェ方式のグループワークを導入しました。医師と多職種で構成されたグループで、地域の現場での課題や支部会に求める活動などについてポストイットで意見を出し合い、途中受粉というメンバーシャッフルを行い、意見を広げる企画です。これによって、地域の現場での課題が浮き彫りとなり参加した方々から、楽しかった、感動した、パワーをもらいましたなど絶賛をいただきました。

また本会の準備運営など多大な協力をいただいた奈良県立医大総合診療医学講座の西尾健治教授から総合診療の役割についてご講演いただくとともに、支部会長として、私、武田をご指名いただいたことを報告させていただきます。



[幹事会からの報告] 2014年度の地域支部・グループ研究活動に対する補助実績

2014年度は、以下の会合から申請をいただき、近畿ブロック支部幹事会での合議に基づき、補助を行いました。今年度も、本制度の積極的な活用を、よろしく願いいたします。

- ・関西家庭医療ベーシックセミナー2014 (8月23・24日)
- ・第29回プライマリ・ケアを語ろう・おおさか勉強会 (8月24日)
- ・滋賀県支部創設大会 (2月8日)
- ・和歌山県支部会総会 (2月14日)
- ・第7回近畿家庭医療ポートフォリオ発表会 (3月1日)
- ・大阪支部発足記念総会 (3月15日)
- ・奈良県支部設立集会 (4月5日)

○第29回近畿地方会

<http://web.apollon.nta.co.jp/primarycare29kinki>

「つなぎ育てる、明日へのケア ～10年後にも輝き続ける地域医療を目指して～」

- ・会期：2015年11月29日(日)
- ・大会長：古家 仁 (奈良県立医科大学医師会 会長)
- ・会場：奈良県社会福祉総合センター (奈良県橿原市大久保町320-11/近鉄橿原線畷御陵前駅東すぐ)
- ・主催：奈良県立医科大学医師会
- ・共催：橿原地区医師会

【ご案内】地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募 (2014. 6. 22 一部改定部分を 下線 で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

<参考> 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切に、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の使途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。(概ね、写真1点+600字、写真が困難な場合は文字のみ700字) また、交流推進のため地方会での一般演題発表も歓迎する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(82円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております! 又、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6)主催者(及び共催者)、7)連絡・問い合わせ先、8)HP(あれば)、9)事前申込の要否、10)参加費用、11)取得可能単位を事務局までご連絡下さい。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ情報提供をよろしくお願いいたします。

学会会員の都府県(支部)の所属は、原則「勤務先」の所在地となっており、ブロック支部事務局に申し出ることで、移動(又は重複)が可能です。学会に登録した連絡先(郵送物が届く住所)以外の府県支部への所属をご希望の方は、近畿ブロック支部事務局まで、ご連絡をお願いいたします。尚、各府県支部からのご連絡が、確実に届くようにするため、差し支えがなければ、連絡先を「勤務先」にする(変更には学会への届出が必要です)ことをお勧めいたします。今後の府県支部活動の発展のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。